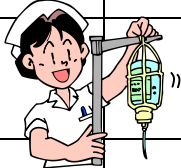
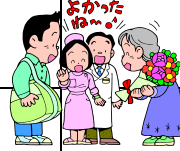


前十字靱帯再建術を受けられる

様の入院診療計画書

年 月 日

岡山赤十字病院 病棟 () 整形外科 主治医 受け持ち看護師 患者署名（代理人署名）

月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
経過（病日）	入院当日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3～6日目	手術後7日目	手術後8～9日目	退院
達成目標	○手術前後の経過について理解できる。		○鎮痛剤を使用して、痛みが改善する。		○車椅子移乗・自走、または歩行器歩行ができる。			○松葉杖歩行ができる。	○創部に問題がない。 ○日常生活動作ができる。
説明・指導	- 手術日の朝までに手術承諾書と麻酔承諾書に署名し提出して下さい。 - 抗菌薬問診票を提出して下さい。 - 手術前オリエンテーションを行います。	- 手術前に術衣に着替えます。 - 手術前に点滴を行います。	- 血栓予防のため、足に空気で圧迫する機械をつけます。 - 神経麻痺症状（しびれ、足の指が動かしくい）が出たらお知らせください。	- ベッドから車椅子の移動は看護師と行って下さい。 - 移動が安定するまで看護師が付き添いますのでナースコールを押してください。	- 足に空気で圧迫する機械は歩行ができるようになれば外します。 - 足の運動を続けて行いましょう。		黒い装具の着脱が可能となりますが、膝関節の屈曲が60度までなので入眠時やベッド端に座っての食事、歩行時などは装着してください。		- 松葉杖歩行が安定すれば退院可能です。 - リハビリ病院へ転院を検討することもあります。
処置				採血を行います。	医師がカーゼ交換を行います。		- 採血を行います。 - カーゼ交換を適宜行います。	術後9日目に創部の状態をみて抜糸を行います。	抜糸は退院後に外来で行うこともあれば転院先で行うこともあります。
薬・注射	内服中の薬をお預かりします。薬によっては服用を中止します。	手術前に点滴を行います。	点滴があります。	- 抗生剤の点滴を行います。 - 飲水・食事がとれたら点滴は終わります。					
食事	看護師が絶食時間をお知らせします。	絶飲食となります。	水分、食事開始時間は看護師がお知らせします。						
安静	制限はありません。		- 術後より黒い装具を装着します。 - 術後3時間はベッド上安静となります。その後はできるだけベッド上安静ですが、トイレは可能です。患肢は術後1日目の安静度と同じです。	患肢荷重25kgまで膝屈曲0～30度まで可能です。 			- 前十字靱帯用の新しい装具へ変更となります。装具は適宜着脱可能です。 - 術後7日目より患肢荷重は50kgまで、膝屈曲0～60度まで可能となります。		術後14日目より患肢荷重は75kgまで、屈曲0～90度が可能となります。
清潔				身体拭きを行います。		許可があれば術後3日目から創部を防水してシャワーに入ることができます。			
排泄		手術前にトイレを済ませて下さい。	- 状態によって手術室でおしっこ管が入ります。 - 尿器や差し込み便器またはポータブルトイレでの排泄となります。	車椅子や歩行器でトイレに行くことができたらかおっこの管を抜きます。					
リハビリ				リハビリを開始します。	歩行訓練継続	歩行訓練継続	歩行訓練継続	歩行訓練継続	歩行訓練継続